

# さの商工ニュース

発行所 ▶ 〒327-0027 佐野市大和町2687-1  
佐野商工会議所  
TEL(0283)22-5511代  
FAX(0283)22-5517  
毎月1回1日発行 定価50円  
(購読料は会費の中に含まれております)  
編集発行 ▶ 亀田好二  
印刷 ▶ 安蘇印刷株式会社  
The SANO  
Chamber of Commerce and Industry

平成17年佐野商工会議所新春賀詞交歓会1/13(木)午後5時 ホテルサンルート佐野 ※お問い合わせは当所(☎22-5511)まで

## 魅力ある情報サービス発進基地づくりを

### 佐野商工会議所 会頭 亀田好二

平成十七年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。日頃より当所の事業についてご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年十一月、第二十四期

佐野商工会議所役員・議員選任にあたり、再び会頭として推挙を受け責務の重さを痛感しているところであります。

に係わる地域企業の金融問題、合併新佐野市の誕生による行政効率化、地域開発、中心市街地活性化、市内連携等の懸案事項が山積しています。

・市内金融機関の協力により、当所会員のためのビジネスローン(仮称)開設を目指す等  
②議員、会員、職員との交流・親睦活動  
・議員、会員に対する「情報提供サービス」の強化を促進するため、Eメールマガジン等インターネットの活用と、さの商工ニュースの充実を図る等  
③議員、会員、市民の憩いの場(サロン)としての会館運営を図る活動  
・商工会議所アムニティ向上のための改善修繕を実施する  
④議員、会員、市民の声を代弁した提言活動  
・部会毎に業界等の情報収集に努める  
⑤中小企業等の経営支援を促進する活動



副会頭 平岩壯夫 副会頭 島田喜内 会頭 亀田好二



専務理事 熊倉章夫 副会頭 矢島堅司 副会頭 落合喜行

当所としては、このような認識の下、事業運営方針に「会員事業所の事業経営に役立つ魅力ある情報サービスの提供ができる発信基地づくりを活動の軸軸とする」ことを掲げました。本年は、次の八項目を柱に重点事業に取り組むこととします。

佐野商工会議所産業経済委員会(篠崎博司委員長)では、関東バス(株)及びジェイアールバス関東(株)が運行している高速バス(新宿線)の利用を促進するため「佐野商工会議所高速バス利用促進の会(代表 篠崎博司・三井福次郎・藤沼恒男)」を立ち上げ、各種検討を重ねた結果を要望書にまとめ、十二月十日(金)に佐野市長並びに都市機構佐野都市開発事務所に提出した。

## 高速バスの利用促進に向けて

### 佐野市と都市機構に要望書提出

飯塚市長、種原総合政策部長に三井代表から要望趣旨について説明した。その後、都市機構佐野都市開発事務所に移動し、大石所長に要望書を提出した。(青木)



我々平岩鋼業は、創業以来、鉄屑・非鉄屑のリサイクルに携わっており、「次世代を担う人々が明るく豊かに生活できる社会」への貢献を事業活動の基本理念としております。そして現在では、鉄屑・非鉄屑に加え産業廃棄物の収集運搬及び中間処理も行ってまいりました。限りある資源の有効利用や省エネルギー化など、環境への取り組みがより大きな流れとなった現在、「明日の社会へつながるリサイクル事業」に取り組むことこそ、私どもが果たすべき責務であると考えております。また、環境ISO(ISO14001)の認証を取得し、更なるリサイクル「モア・リサイクル」をモットーに全従業員が一丸となり、より積極的に環境保全に取り組んでおります。

- #### 要望趣旨
1. 新宿発21時30分(東京駅発22時10分)の高速バスの佐野経由の実現について
  2. 新宿発22時30分(東京駅発23時10分)の高速バスの予約制の導入及び増車について
  3. 成田空港行きバスの佐野プレミアム・アウトレット停留所発着について
  4. 佐野プレミアム・アウトレット停留所の設置について

副会頭 平岩 壯夫 (平岩鋼業(株))

## 四年に生まれて

今年が西年です。当所役員・議員の中で西年生まれの子の7名の方々に、新年の抱負を伺いました。

常議員 川崎三代次 (株)川崎製作所 (昭和8年1月27日生) 今年で72回目の誕生日を迎えることになりましたが、お陰様にて、元気に新年を迎えることが出来ました。

最近の留意点として、運動をする事を第一とし、スポーツに興じ、身体を動かす事に専念して居ります。若い頃は野球そして柔道をやって居りました。又、趣味は全国の名城を見て歩くことです。雄大な石垣を、天守閣を見て心癒されます。

昨年は災の年とされました。(台風地震等)本年こそ、災い転じて福としたいですね。皆様様に幸多かれと念じ申し上げます。

議員 椎名 竹一 シイナコマース(株) (昭和8年10月1日生) 馬齢を重ねて72年。神様は三つのもの(健康・財産・智慧)の中から、私に一つだけ健康を授けて下さいました。「健康を与えるから、一生懸命頑張れよ」との意味が含まれていると思います。なによりありがたい贈り物で感謝しております。微力ですが、職業・地域・その他の分野を通じ、我が人生の責めを果たして参りたいと思います。よろしくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

常議員 柳澤 隼人 (株)信濃食品 (昭和20年4月1日生) まさか自分が還暦を迎えることになるとは、紛れなき事実を目前にし何故か実感が湧かず。「まさか」とはまだ若いという自惚れか。「実感が湧かず」とは、知力・体力・あらゆる能力の衰えを自覚していないだけのことか。いずれにせよ、もう一巡り生きてみようとは笑止なり。ならばせめて最終章を「らしく」生きたいと願う。

議員 原 勝彦 シーアイサンプラス(株)佐野工場 (昭和20年4月30日生) 神奈川県小田原の生まれで子供の頃、海や川でよく水泳をしました。中断していた水泳を昨年再開しました。(1回/週の初心者スクールに入学)今年度中に上級(妻に並ぶ)になる。各種目共100m女子自覚記録のタイムを50mで泳ぐ事を目標とします。(自由型53秒52・平泳1分59秒30・背泳59秒58・バタフライ56秒61)

議員 小野 憲一 藤倉化成(株)佐野事業所 (昭和20年8月14日生) 今年も、年の始めに思うことは、やはり工場の安全操業です。当社は昨年、安全・ゼロ災を進めたいと「労働安全衛生マネジメントシステム」を導入致しましたが、毎年厄除大師に安全祈願詣でを恒例の行事としてしています。また今年も、佐野工業団地内での新工場建設の計画を進め生産体制を充実させると共に、更に地域社会の皆様とお客様の信頼を高めていきたいと考えております。

常議員 米澤 元嗣 東邦建(株) (昭和20年10月11日生) 今や人生80の時代、還暦は人生の一通過点の節目の年と考えている。また、弊社の創立は昭和21年であり、私より一年遅れて還暦を迎える。日本経済は長いトンネルを抜けつつあり、次の新しい時代もおぼろげながら見えてきている。ただ、その間に人の考え方、価値観ならびに取り巻く環境は大きく変化している。従って、今年はその時代を生き抜くために、公私にわたり、新たな気持ちで変化を求めて行きたいと思っています。

議員 井川 克彦 (株)ノア (昭和32年3月18日生) 今年4月、法人設立10周年を迎えます。英語教育を通して、国際社会で活躍できる人材育成に少しでも貢献したいと、日々最良の教育を求めて研鑽を重ねています。「いつも喜んで下さい。たえず祈りなさい。すべてのことについて感謝しなさい。」この聖書の言葉を座右の銘として次の10年を目指します。

## 永年の労苦に深く感謝 役員・議員初顔合わせ慰労会



第二十四期役員・議員の「ホテルサンルート佐野」において、新役員・議員初顔合わせ並びに退任役員・議員慰労会を開催しました。冒頭、亀田会頭が、退任役員・議員の永年の労苦に対してお礼の言葉を述べ、感謝状と記念品を贈呈した後、今期新しく役員・議員となった方の紹介があった。続いて、飯塚佐野市長をはじめ来賓の方々から祝辞が述べられた。なお、退任表彰を受けた役員・議員は次の六名(敬称略)である。

・湯本 諄 (名)鍵屋湯本 清八商店(副会頭)  
・大島 和一 大島メリヤス(常議員)  
・山口 英三 昭和電機(株)(常議員)  
・江田信太郎 日本模型(株)(議員)  
・斎藤 昌 (御)さい陶 議員 (小倉)

社会保険相談1/20(木)午前10時〜午後3時 場所 佐野商工会議所3階会議室 協力事業所 社会保険委員会佐野支部・安蘇支部、佐野商工会議所